

インド市場の供給体制強化に向け、自動車用ホース新工場を建設 ～生産能力を約 33%増強、2026 年 2 月生産開始予定～

住友理工株式会社（本社：名古屋市中村区、代表取締役 執行役員社長：清水和志）は、インドで自動車用および二輪車用ホースを製造・販売するグループ会社、SumiRiko Imperial Rubber India Pvt. Ltd.（本社：インド ハリヤナ州、以下「SRK-IR」）の新工場を同州バワル市に建設いたします。新工場の投資額は約 441 百万ルピーで、2026 年 2 月から生産開始を予定しています。



バワル工場外観

近年、インドは GDP（国内総生産）規模で世界第 5 位の経済大国として成長を続けており、自動車新車販売台数も世界第 3 位となるなど、旺盛な需要が見込まれています。さらに、環境負荷低減を目的に電動化・排出ガス規制の強化が進む中、当社グループは環境規制や顧客ニーズに対応した高品質なホース製品を開発・供給してきました。今後も、さらなる市場拡大と品質要求の高度化に応えるため、社会課題解決への貢献と持続的成長の両立を目指し、新工場の建設を決定しました。

SRK-IR は、2005 年に当社グループ初のインド拠点として設立以来、約 20 年にわたり製品供給を行ってきました。今回の新工場建設により、インド北部に生産拠点を持つ主要顧客を中心とした供給体制を強化します。今回の新工場建設により、同社の生産能力は約 33%拡大します。本投資により、製品供給の安定化と顧客価値向上を実現し、地域社会および産業発展に寄与していきます。

お客様のサプライチェーン構造に対応するため、当社グループはこれまで自動車用防振ゴム・ホースをはじめとする自動車用品を世界 5 極で製品開発・供給体制を整備し、グローバル・システムサプライヤーとしての取り組みを進めてきました。今後も持続的な投資と雇用創出を通じ、地域経済の発展に貢献していきます。

当社グループは、経営ビジョン「2029 年 住友理工グループ Vision」において、「自然と都市と人の空間が繋がる グリーンで快適な社会」の実現を目指しています。コアコンピタンスである「高分子材料技術」「総合評価技術」を基盤に、次世代モビリティへの進化に対応した製品の開発提供を推進してまいります。

＜新工場の概要＞

所在地：インド ハリヤナ州バワル市

事業内容：自動車用および二輪車用ホースの製造

生産開始：2026 年 2 月（予定）

従業員数：280 名（見込み）

面積：12,765 m²

投資額：約 441 百万ルピー（設備のみ）

以 上

―― 住友理工について ―――

住友理工は1929年に創業し、名古屋市中村区に本社を置くモノづくり企業です。2014年に東海ゴム工業から社名を変更しました。自動車（モビリティ）分野では、振動を制御する世界トップシェア（当社推定）の防振ゴムのほか、ゴム・樹脂ホースや、ウレタン製の制動音品・内装品を製造。自動車部品の開発で培った技術を生かし、インフラ・住環境、エレクトロニクス、ヘルスケアの各分野でも事業を展開しています。世界20ヶ国以上に広がるグローバルネットワークを活用して、“Global Excellent Manufacturing Company”を目指しています。

リリースに関するお問い合わせ先
住友理工株式会社

広報IR部／〒450-6316 名古屋市中村区名駅一丁目1番1号 JPタワー名古屋

tel 052-571-0259 e-mail product.info@jp.sumitomoriko.com <https://www.sumitomoriko.co.jp/>